

# 第1学年 前期中間テスト (仮) 試験範囲

第1日：6月10日(水)

時・教科	試験範囲	学習へのアドバイス
1校時 理科	<p>《教科書》 P2～P35</p> <p>《ワーク》 P2～P15、P22</p>	<p>○ワークを何回も繰り返しましょう。</p> <p>1回解くだけで満足せず、2周目、3周目</p> <p>○テストの日に近くなったら教科書をよく読み込みましょう。</p> <p><b>【提出物について】</b></p> <p>ワークの範囲を「理科の完全学習ノート」に解き、6月11日(木)の学級の提出物回収の時間までに提出してください。ただし、丸付け、解き直し(間違い直し)をすること。</p>
2校時 国語	<p>《教科書》 『ふしぎ』P1～2 『聞くということ』P17～21 『桜蝶』P24～29</p> <p>漢字の広場1 漢字の部首 P48～49、 『自分の脳を知っていますか』P36～44</p> <p>言葉の単位 P278～280</p> <p>《国語ワーク》 P8～17、P20～25 《文法ノート》 P4～11</p> <p>※提出はありません。</p> <p>《単元別漢字マスター》 P4～13</p> <p>※応用練習、入試によく出る漢字は出題しません。 各ページ①～⑤の中から読み書きをランダムに出題します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の本文は、一度以上は読みましょう。</li> <li>・ノートや授業プリントを振り返り、授業の内容を思い出しましょう。</li> <li>・正しく、誰が見てもわかる字で書きましょう。</li> <li>・国語便覧も活用しましょう。</li> </ul> <p><b>【提出物について】 6/9(火)メ切</b></p> <p>メ切日に間に合うように、各自で進める。</p> <p>範囲が終わった人から教科担当に提出すること。</p> <p>★漢字練習ノート P4～13</p> <p>★国語ワーク(よくわかる国語の学習) P8～25</p> <p>※国語ワークはデジタルワーク(マナビリア)、冊子どちらで取り組んでも構いません。</p> <p>取り組み方は、授業内で説明します。</p> <p>★テスト前に、授業ノートの点検をします。</p> <p>日程は、後日教科担当から授業の中で連絡します。</p>
3校時 英語	<p><b>【教科書 NEW HORIZON】</b> pp.6～23</p> <p>○ Unit 0 Nice to Meet You ○ Unit 1 Hello, Everyone! ○ Our New Teacher (part2 まで)</p> <p><b>【めきめき English】</b> pp.6～24 上記の教科書と同じ範囲の文法</p> <p><b>【授業内で配付されたプリントや単語プリント】</b> 各教科担当の先生に確認をしましょう。</p>	<p>初めてのテスト! 緊張しますよね。</p> <p>緊張から自分の力を最大限発揮できないこともあると思います。とにかく落ち着いて、焦らず、問題文をよく読んで解答しましょう。</p> <p>★ 問題文をよく読む(答え方も記号なのか、直接書くのか、よく読んで解答しましょう)</p> <p>★ 誰が見てもわかる字で書こう (rとv、uとa、oとu、bとd、pとqなど間違いやすいので気を付けましょう)</p> <p>★ 文法や単語はとにかく書く! (ノートや紙にとにかく書きましょう!)</p> <p>★ ワークを繰り返し解きましょう</p>

第2日：6月11日（木）

時・教科	試験範囲	学習へのアドバイス
1校時 数学	1章 正の数・負の数（教科書 p.12～57） ワーク p.2～37まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計算問題は、教科書やワークの問題を繰り返し解いて計算方法を定着させておきましょう。</li> <li>・ 教科書をよく読んで理解しておきましょう。</li> <li>【提出物について】</li> <li>・ ワーク p.2～37 （○付けもして教科担任の指示に従って提出）</li> <li>・ 授業ノート （教科担任の指示に従って提出）</li> </ul>
2校時 社会	<p>【教科書 『新しい社会 地理Ⅰ』】 P. 8～P. 55</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「第1編 世界と日本の地域構成」すべて</li> <li>○ 「第2編 世界のさまざまな地域」の「第1章 人々の生活と環境」すべて</li> </ul> <p>【ワーク 『社会の自主学習 地理Ⅰ』】 P. 2～37（教科書の範囲分） <u>※まずは「社会の自主学習ノート 地理Ⅰ」 P. 1～21に解いて提出しましょう！！</u></p> <p>【参考】資料集 『アクティブ地理 総合』 P. 2～35も参考にして学習してみてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ テスト問題用紙の表紙に書いてある注意事項をよく読み、問題の指示に従って解きましょう。</li> <li>○ 教科書・ノート・プリントなどを、最低1度以上は読み返して学習に取り組みましょう。</li> <li>○ ただ用語だけを暗記するのではなく、意味や内容を自分の言葉で説明できるまで学習しましょう。</li> <li>○ 時差の計算や都道府県の問題も出題します。時差は計算だけでなく、内容に関わる用語を、都道府県は地方や、県庁所在地との組み合わせまで覚えるようにしましょう！！</li> <li>【提出物について】</li> <li>○ <u>ワークノート『社会の自主学習ノート地理Ⅰ』</u>解いて丸付けまでして提出！！ （期日）6月11日（木）帰りの会后</li> <li>○ 授業用ノート ➡教科担任の先生の指示に従ってください。</li> </ul>